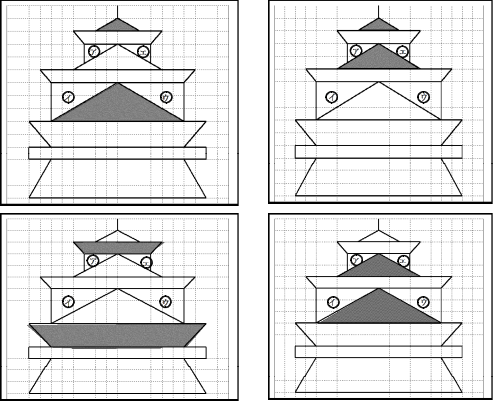
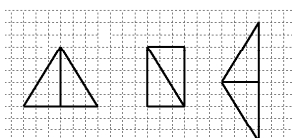
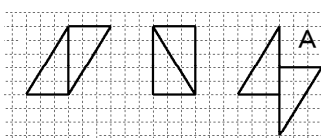
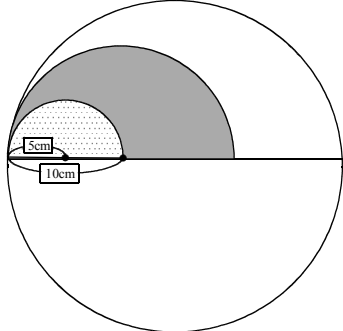
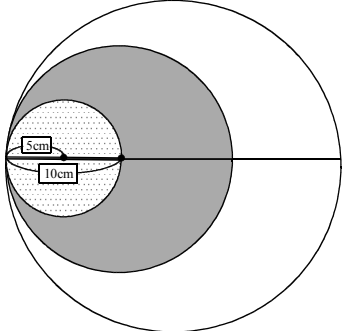


大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
1	(1)	①	技能			1 2.5	5
	(2)	②	技能			$\frac{8}{15}$	5
	(3)	③	技能			$\frac{8}{5}$ または $1\frac{3}{5}$	5
	(4)	④	技能			$\frac{25}{12}$ または $2\frac{1}{12}$	5
2	(1)	⑤	知識			㊦ ※イでも可	5
	(2)	⑥	考え			$x \div 20 = y$, $20 \times y = x$ など	5
3	(1)	⑦	技能	○式(求め方)はあっているが、計算を間違えている。 (例) $18 + 13 + 12 + 0 + 23 = 65$ $65 \div 5 = 13$ <u>答え 13個</u> など	2	(式) $(18 + 13 + 12 + 0 + 23) \div 5 = 13.2$ または、 $18 + 13 + 12 + 0 + 23 = 66$ $66 \div 5 = 13.2$ (0が式に入っていない可) <u>答え 13.2個</u>	5
	(2)	⑧	考え	○(1)の答えは間違っているが、その答えを使った求め方はあっている。 (もしも、13個と答えた場合) (例) $13 \times 22 = 286$ ----- ○式(求め方)はあっているが、計算を間違えている。 ----- ○式(求め方)と計算はあっているが、答えの「できない」の方を○で囲んでいない。	2 2 3	(言葉や式) ・ <u>第1週の1日平均が13.2個で</u> <u>10月は22日間あるから</u> $13.2 \times 22 = 290.4$ または、 $66 + 13.2 \times 17 = 290.4$ または、 $13.2 \times 17 + 66 = 290.4$ など <u>290.4は300より小さい</u> (波線部分は入っていない可) (できる ・ <u>できない</u>)	5
	(3)	⑨	知識			$\frac{1}{300}$	5
4	(1)	⑩	技能	○式(求め方)はあっているが、計算を間違えている。	2	(式) $12 \times 300 = 3600$ ($3600 \text{ cm} = 36 \text{ m}$) <u>答え (約) 36 m</u>	5
	(2)	⑪	関心	○右の4つのうち、1組はあっている。	3	 ○上の4つから2つかいている。 ○二等辺三角形を <u>3か所</u> 選んだ場合は、それだけでも可。	5

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
5 10 点	(1)	⑫	知識			5 : 2	5
	(2)	⑬	考え	○米粉の量を求めたり，3袋でたりるか どうかを求める考え方・式はあっている が計算や答えが間違っている。 (例) $\cdot 2000 \times \frac{2}{5} = 400$ 米粉3袋では $250 \times 3 = 750$ なので3袋でたりる。 など	2	(例1) ○小麦粉と米粉の比を使って考える。 小麦粉と米粉の比が5 : 2になる ように，計算で米粉の重さを求め， 米粉3袋分の重さと比べ，たりない ことを説明している。 必要な米粉の重さは， (2 kg = 2000 g) <div><div><div><div>× 400</div></div><div>5 : 2 = 2000 : □</div><div><div>× 400</div></div></div><div>$2000 \div 5 = 400$$2 \times 400 = 800$<p>(400 × 2 も可)</p></div></div> または $2000 \times \frac{2}{5} = 800$ <div>すべての解答に共通の説明</div> <p>米粉は800 g 必要である。 米粉3袋では $250 \times 3 = 750$ だから，米粉は3袋ではたりない。 (たりる ・ たりない) など</p>	5
				○米粉の量を求めたり，3袋でたりるか どうかを求める考え方・式はあってい て，米粉が800 g 必要なことまでは 求めているが， すべての解答に共通の 説明 について書いていない。また，答 えは「たりない」を○で囲んでいない。	3		
			○米粉の量を求めたり，3袋でたりるか どうかを求める考え方・式はあってい て，米粉が800 g 必要なことまでは 求めているが， すべての解答に共通の 説明 について書いていない。また，答 えは「たりない」を○で囲んでいる。	4	(例2) ○小麦粉どうしの比を使って考える。 <div><div><div><div>× 0.4</div></div><div>250 : 2000 = 100 : □</div><div><div>× 0.4</div></div></div><div>$100 \div 250 = 0.4$$2000 \times 0.4 = 800$</div></div> <div>すべての解答に共通の説明</div> (例3) ○個数どうしの比を使って考える。 <div><div><div><div>× 5</div></div><div>20 : 160 = 100 : □</div><div><div>× 5</div></div></div><div>$100 \div 20 = 5$$160 \times 5 = 800$</div></div> <div>すべての解答に共通の説明</div>		

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
5	(2)	13	考え			○比を使わず，割合の考え方を使って求めている。 (例 4) 2000÷250＝8で， 20個分の8倍買ったことになる。 米粉も100gの8倍必要なので 100×8＝800 <div>すべての解答に共通の説明</div>	5
						(例 5) 160÷20＝8で， 20個分の8倍買ったことになる。 米粉も100gの8倍必要なので 100×8＝800 など <div>すべての解答に共通の説明</div> ○5：2の比ではなく，250:100などの比を使って，必要な米粉は800gであることを求め，3袋では足りないことを説明していても可。	
【授業改善の視点】比の考え方をを用いて米粉の重さを考える活動を通して，必要な米粉の袋の数を判断する算数的活動を工夫する。							
6 10 点	(1)	14	技能	○式はあっているが，計算を間違っている。	2	(式) 100÷16＝6.25 答え (秒速) 6.25 m	5
	(2)	15	考え	○(1)でしんじさんの走る速さを間違っている場合でも，正しい求め方をしている。 (もしも，(1)で6.55 mと答えた場合) (例) 6.55×10＝65.5 100－65.5＝34.5 答え 34.5 m	3	(例 1) まず，秒速×時間でしんじさんが走った長さを求め，100 mとの差で考える。 (式) 6.25×10＝62.5 100－62.5＝37.5 答え 37.5 m	5
				○考え方は正しいが，式が不十分である。 (例) 100－62.5＝37.5 答え 37.5 m	3		
				○式はあっているが，答えのみ間違っている。 (式) 6.25×10＝62.5 100－62.5＝38.5 答え 38.5 m ※計算の答えを37.5まで出しており，答えを四捨五入して約38 m，約40 mと答えていても4点とする。	4		

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
7 10点	(1)	⑯	考え	○けがをした全体の人数がちがうことだけを書いている。 (例) ・10月にけがをした全体の人数が、11月にけがをした全体の人数より多いから。 ・もとにする量が10月の方が11月より大きいから。 など	2	○10月と11月のすりきずをした人数を式を書いて求めて、説明している。 (例) 10月にすりきずをした人数は $40 \times 0.45 = 18$ (人) 11月にすりきずをした人数は $28 \times 0.5 = 14$ (人) 10月にすりきずをした人は18人、11月にすりきずをした人は14人だから、11月にすりきずをした人数は減った。 など	5
				○式はないが言葉のみで正しい説明をしている。 (例) ・10月にすりきずをした人数は40人の45%だから18人、11月にすりきずをした人数は28人の50%だから14人だから、11月にすりきずをした人数は減った。 など ※式が書かれていない。	2		
				○10月と11月の人数を求める式を書いて説明しようとしているが、計算が間違っている。	3		
				【授業改善の視点】割合(円グラフ)だけでは大小比較ができない事象について、基準量(棒グラフ)と併せて考えながら人数の大小比較を説明する算数的活動を工夫する。			
	(2)	⑰	技能			㊦ ※ウでも可	5
8 15点	(1)	⑱	関心	○直角三角形を2まい使って線対称な図形か点対称な図形のどちらかをかいている。	2	○直角三角形を2まい使って線対称な図形と点対称な図形を1つずつかいている。 【線対称】  など 【点対称】  など ただし、長方形は線対称、点対称のどちらで取り扱ってもよい。 また、Aのように辺をずらしている場合も可。	5
				○線対称、点対称のどちらとも長方形をかいている。	2		
	(2)	⑲	知識	○②か④のどちらかのみ書いている。	2	② ④ ※2, 4でも可	5

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
8	(3)	20	考え	<p>○答えは間違っているが、求め方はあっている。</p> <p>【例 1 の場合】</p> <p>右の下線部分が間違っているでも大きい半円から小さい半円を引いて求めようとしている。</p> <p>$10 \times 10 \times 3.14 = 316$ $316 \div 2 = 158$ $5 \times 5 \times 3.14 = 79.5$ $79.5 \div 2 = 39.75$ $158 - 39.75 = 118.25$</p> <p>など</p> <p>※ 例 2 も例 3 も同様</p>	3	<p>(例 1)</p> <p>○アとイの面積が等しいことを使って求めている。</p> <p>まず、黒い部分の半円の面積を求める。次に、網かけ部分の半円の面積を求める。最後に、黒い部分の半円の面積から網かけ部分の半円の面積を引く。それが 2 つあるから、2 倍する。</p>  <p>$10 \times 10 \times 3.14 = \underline{314}$ $\underline{314} \div 2 = \underline{157}$ $5 \times 5 \times 3.14 = \underline{78.5}$ $\underline{78.5} \div 2 = \underline{39.25}$ $\underline{157} - \underline{39.25} = \underline{117.75}$ $\underline{117.75} \times 2 = \underline{235.5}$ 答え $\underline{235.5} \text{ cm}^2$</p> <p>(例 2)</p> <p>○図形を動かして、求めている。</p> <p>イの部分を左右反転させると下図になることから、黒い部分の円の面積を求め、そこから網かけ部分の円の面積を引いている。</p>  <p>$10 \times 10 \times 3.14 = \underline{314}$ $5 \times 5 \times 3.14 = \underline{78.5}$ $\underline{314} - \underline{78.5} = \underline{235.5}$ 答え $\underline{235.5} \text{ cm}^2$</p> <p>(例 3)</p> <p>○アとイの面積を別々に求めて、答えを求めている。 など</p>	5